

学振特別研究員の申請に向けて

2020年5月の申請に向けて

準備は1年前から！

大学院生、ポスドク研究員の皆さん

日本学術振興会の特別研究員制度とは、若手研究者が自由な発想のもと主体的に研究に専念できるよう、生活費として使用できる研究奨励金（2020年度支給予定額：DC月額20万・PD月額36.2万）に加え、研究のために必要な研究費も十分に支給される制度です。

文学研究科（平成31年度より文学院に改組されました）でも、これまでに多くの大学院生・ポスドクが特別研究員に採択され、研究活動に取り組んでいます。

今回のセミナーでは、新規に採用された方を含むDC4名とPD1名の方から、特別研究員の申請に向けての心構えや申請書作成のポイントについて、ご自身の経験を踏まえながらお話していただきます。また審査員経験や申請書作成指導の経験豊かな教員からのコメントもあります。

申請を検討されている方はもちろん、将来のキャリアパスについて考えたい方は、是非ふるってご参加ください。大学院進学を考える学部学生もお気軽にご参加ください。

話題提供者：

- 高鳥 廉（日本史学研究室・H30DC2）
- 横山 実紀（行動科学研究室・H31DC1）
- 増井 真琴（映像・現代文化論研究室・H31DC2）
- 小林 知恵（哲学倫理学研究室・H31DC2）
- 清沢 紫織（スラブ・ユーラシア研究センター
・H30PD）

教員コメンテーター：

- 池田 透（地域科学研究室・教授）
- 武田 雅哉（中国文化論研究室・教授）

司会：

藏田 伸雄（哲学倫理学研究室・教授／研究推進委員長）

4/17(水)

北海道大学・大学院文学院
人文・社会科学総合教育研究棟
於 W202 室
18:15～19:45

事前申込不要

業績がないとダメかな...
審査者を具体的にイメージする、例えば？
分かりやすく書くってそういうことなの..
先輩もすぐ参考になつたらいいよ..
留学すると有利になるの？
研究の発展性？



お問い合わせ